

# 月刊『旅の手帖』2026年4月号はオールカラー100ページの「ふくしまデスティネーションキャンペーンガイドブック」付き！

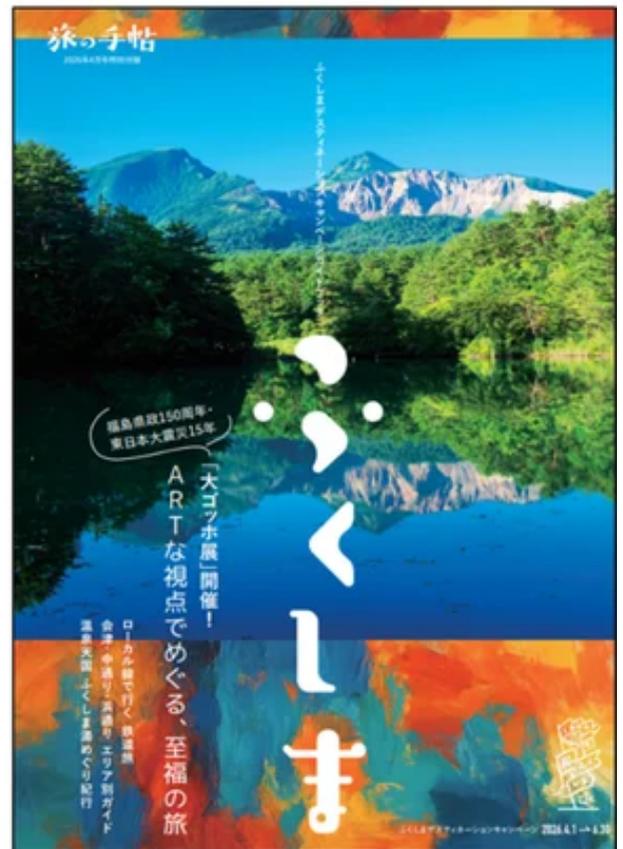
— ローカル線の春旅特集とあわせて、春のお出かけを提案 —

株式会社交通新聞社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：伊藤嘉道）が発行する月刊『旅の手帖』は、3月10日（火）に2026年4月号を発売します。今号では、今年4月1日から始まる「ふくしまデスティネーションキャンペーン」にあわせ、福島県へのご旅行に役立つガイドブックを特別付録として収録しました。（デスティネーションキャンペーン＝以下「DC」と表記）

月刊『旅の手帖』は、コンセプト「知らない日本へちょっと冒険」のもと、観光スポット紹介にとどまらず、旅のスタイルや体験を提案する国内旅行の月刊誌です。2026年4月号では、巻頭特集に「ローカル線ひとり旅」を据え、さらにこの春に開催されるふくしまDCのガイドブックとともに、春の旅心を掻きたてる一冊に仕立てました。



## 特別付録



月刊『旅の手帖』2026年4月号表紙（写真左）。特別付録ふくしまDCガイドブック（写真右）

# 月刊『旅の手帖』2026年4月号

## <本誌の主な内容と特徴>

### ●第1特集「ローカル線ひとり旅」

気ままに途中下車しながら、車窓の絶景やレトロな駅舎、沿線の町歩きを楽しむ、“ひとりが心地よい”鉄道旅を提案します。房総エリアや北陸、山陰、四国、東北など、全国各地のローカル線を紹介。あわせて、鉄道旅の魅力を多角的に伝える企画を盛り込みます。春に乗りたい絶景路線のグラビア、2026年3月末で全線廃止となる留萌線の回顧企画、現役で走る貴重な国鉄型車両 ほか

### ●第2特集「北海道新幹線開業10周年 春の青森～函館・札幌紀行」

北海道新幹線で結ばれた青森と函館を軸に、津軽海峡を越えて育まれてきた文化や食、温泉、春ならではの絶景を紹介します。

## 特別付録：ふくしまDCガイドブック『ふくしま』

福島県は東日本大震災から15年の節目の年にあたります。また、福島県政150周年や福島県立美術館「大ゴッホ展」などのトピックスもあるなか、**2026年4月1日～6月30日に「ふくしまDC」**が行われます。本付録は、福島県の魅力を『旅の手帖』の視点で編集した**副読本**です。全100ページ、福島県内全市町村の情報を網羅しています。

## <付録の主な内容と特徴>

### ●第1特集「ARTでめぐる、ふくしま」

「大ゴッホ展」を起点に、ART×美術館／桜／自然／建築／工芸／食・人の交流へと広げる旅の提案。



**白石川小崎城** ◆◆◆  
江戸時代の石川屋敷。内政実業が4年の歳月をかけて完成させた。石川屋敷自給口の備えで完成し、早稲入り懸垂葺材に基づいて虎丸、雉丸、鷹丸の虎丸工事をし、2027年3月完成予定。  
0242-22-1147(山形県文化遺産センター) 0240-1700(多賀城歴史文化センター) 0240-22-2220(多賀城歴史文化センター) 0240-22-2220(多賀城歴史文化センター) 0240-22-2220(多賀城歴史文化センター)

# ART X 建築

平安時代から現代まで、日本の洗練された技を見られる  
福島県自慢の名建築を紹介。





**白河阿弥陀堂** ◆◆◆  
平安時代中期に、奥の細道の近代 聖徳太子の御宇、天竺の僧侶に由来して建てられた。美しい曲線の屋根と漆工の細やかな装飾が特徴。内閣府の重要文化財に指定されている。  
0246-26-2079(酒田市) 0240-20-1625(酒田駅前) 0240-20-1625(酒田駅前) 0240-20-1625(酒田駅前) 0240-20-1625(酒田駅前)

**鶴ヶ城** ◆◆◆  
戦国時代の武將 徳川家康により、文禄2年(1593)に建てられた。徳川幕府に認められた。徳川幕府を多くの人々を魅了した。徳川幕府を多くの人々を魅了した。徳川幕府を多くの人々を魅了した。  
0242-27-4005(仙台市青葉区) 0242-27-4005(仙台市青葉区) 0242-27-4005(仙台市青葉区) 0242-27-4005(仙台市青葉区) 0242-27-4005(仙台市青葉区)

**会津さざえ堂** ◆◆◆  
寛政5年(1793)、かつて奥州山にあり、奥州の雄略が旺盛した。奥州の雄略が旺盛した。奥州の雄略が旺盛した。奥州の雄略が旺盛した。奥州の雄略が旺盛した。  
0242-22-2220(会津若狭市) 0242-22-2220(会津若狭市) 0242-22-2220(会津若狭市) 0242-22-2220(会津若狭市) 0242-22-2220(会津若狭市)

**只見線** ◆◆◆  
只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。  
0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町)

**第2特集「ローカル線で行く 鉄道旅」**  
只見線など、沿線の観光スポットを紹介。DC期間中のイベント列車情報も掲載。

**日本三大空蔵書庫の一つに数えられる名刹**  
**福満虚空蔵菩薩 圓融寺** ◆◆◆  
大正2年(1913)に開創された。東洋の建築史上重要な遺構は弘法大師の作と伝わる。境内には「新土蔵丸」がある。境内には「新土蔵丸」がある。境内には「新土蔵丸」がある。境内には「新土蔵丸」がある。  
0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町)

**只見線** ◆◆◆  
只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。只見線ファンが憧れる全長約135.2kmを結ぶ。  
0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町) 0241-42-2360(只見町)



**二枝温泉**

1200年以上前に磐城天童の両河を繋ぐための温泉を山家が発見したと伝わる。この温泉地には、天童3年(1040)に創設した早稲門の長が伝人だという平安朝入道殿が残る。湯は二枝渓谷沿いに点在し、露天風呂ではブナの原生林とせせらぎに包まれるがら入浴可能。温泉はカルシウム成分が高く、湯の清と美しい景として知られる。

**第42回二枝山山開き**

標高1544.3mの二枝山。四季の山開きをスタートし、温泉と山を結ぶ約7kmのコース。当日は入場券や記念品と二枝温泉の入浴券をプレゼント。

0238-62-2117(観光課) 02471 温泉地元の山荘

**高湯温泉**

標高1200mの山麓と伝わる古湯。硫黄成分の湯量が多く、他温泉の乳白色の湯泉で、土中の質では、湯のかけ流しの湯を堪能できる。高湯温泉では、「白湯」(無ろ過)、「無ろ過白」という入浴湯がある。30分間の湯浴みすれば、湯気の力で体が温められるという。自然の恵み豊かな自然の幸にあふれ、むかしながらの湯治場の風情が残る。

山々や深谷など、個々の豊かな自然に包まれる秘湯の宿。個性ある景観がそよい。どこか懐かしさも感じられる

**秘湯の宿へ**

温泉天国

**湯物玉子湯**

創業約420年。山の中を中心とした湯治場が栄え、名物の湯物玉子湯(写真)ほか、湯気、野天などおもしろ湯が楽しめる。

0236-081-1171 0232-8211900(内)〜

0232-8211900〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜

0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜

**結屋旅館**

三つの温泉は、すべて自然湧出。温泉が利用できる温泉旅館(写真)は、20年ほど前の温泉地の中心に温泉を湧き出す温泉の湯。

0238-68-2733 0232-8211900(内)〜 0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜

0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜

**大丸あすなろ荘**

江戸時代創業。温泉地がある二枝山開きの麓(写真)は、温泉の湯から温泉が湧く。温泉の湯が湧き出る。

0238-68-2733 0232-8211900(内)〜

0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜

**野地温泉ホテル**

標高1200mの山麓と伝わる古湯。硫黄成分の湯量が多く、他温泉の乳白色の湯泉で、土中の質では、湯のかけ流しの湯を堪能できる。高湯温泉では、「白湯」(無ろ過)、「無ろ過白」という入浴湯がある。30分間の湯浴みすれば、湯気の力で体が温められるという。自然の恵み豊かな自然の幸にあふれ、むかしながらの湯治場の風情が残る。

0232-66-3011 0232-8211900(内)〜 0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜0232-8211900(内)〜

『旅の手帖』編集長 山口昌彦 より

「春」がいっぱい詰まった4月号。思い立ったら吉日な旅なら、ひとり旅が一番です。どこでなにするにも自分次第。いい大人が思いっきりわがままに過ごせる気持ちいい時間が過ごせます。誌面では、人気の銚子電鉄や天竜浜名湖鉄道、香川県の「ことでん」や海の京都をつなぐ京都丹後鉄道など、列車自体も個性があって沿線スポットもバラエティー豊かな路線をそろえました。

特別付録は、「付録」の域を超える100ページボリュームの「ふくしまDCガイドブック」。期間中だからこそ体験できる最新の観光メニューも数多く掲載。福島県の最新観光情報がつまっています。

商品情報

- ・ 誌名：月刊『旅の手帖』2026年4月号
- ・ 特別付録：ふくしまDC公式ガイドブック『ふくしま』（B5判／全100ページ）
- ・ 発売日：2026年3月10日（火）
- ・ 価格：1,100円（税込）
- ・ 発行元：株式会社交通新聞社
- ・ 全国の書店＆オンラインで販売＆電子版＆読み放題サービスにも掲載

<<オンライン書店の一例

<https://www.amazon.co.jp/dp/B0G4VC34WZ>

## デスティネーションキャンペーンとは

デスティネーションキャンペーン（DC）は、JRグループと自治体・観光事業者が連携して行う、日本最大級の地域観光促進キャンペーンです。

**福島デスティネーションキャンペーン公式サイト**

<https://www.fukushima-dc-cp.jp/>

## お問い合わせ先

株式会社交通新聞社 出版事業部（販売）

TEL：03-6831-6622

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000141.000050139.html>

株式会社 交通新聞社のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company\\_id/50139](https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company_id/50139)